

# 畜産由来たんぱく質の摂取量 2007年

## Consumption of Livestock Protein



世界の畜産生産量は、人口と所得の増加とともに過去40年間に急激に増加してきました。増加の大部分は、東アジア、東南アジア、ラテンアメリカ・カリブ海地域における需要の拡大によるものです。一方アフリカでは、需要は徐々に増加しているものの、貧困や畜産改革の遅れなどにより生産量の大きな伸びは見られません。

畜産物は過剰に摂取すると健康に

害となる場合もありますが、微量栄養素などの重要な栄養価に富むことから、少量でも栄養改善に役立ちます。

たんぱく質の推奨適正摂取量に畜産由来たんぱく質が占める割合を国別に見ると、アフリカでは低く、欧米やオセアニアでは摂取過多の傾向があります。アフリカの中にはたんぱく質総摂取量が推奨摂取量に満たない国も多いのが現状です。

畜産物の消費量は、今後も人口と所得の増加とともに、開発途上国を中心に大きく伸びることが予想されています。集約的な生産方式は、これまで同様に供給の大部分を担うことが期待されている一方で、環境への負荷や家畜疾病のリスクを増やすといった問題も抱えています。需要の増加と多様化への対応と同時に、こうした課題の解決が急務となっています。

